

			2024年度		授業計画	
一級自動車工学科						
時 期	4 年後期	単元	実習	教科名	故障診断1	
科 目	評価実習	教科書等 持参品	エンジン電子制御装置 テキスト		発行日	
			シャシ電子制御装置 テキスト			
総時限	30時限 (48時間)		自働車新技術 テキスト		教科担当	教科担当
			法令教材 テキスト			
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
自動車整備士として、故障診断の経験がある教員により論理だてた故障診断手順を指導する。						
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)						
1. 一級自動車整備士として身に着けるべき実践的な知識、技能を修得する						
3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何ができるようになるのか)						
1. インターンシップ研修で得た課題について、理解・習熟し、確実に作業ができる						
2. 国家 1 級テキストの内容を整備機器、車両、シミュレーターを利用して確認し、理解を深める						
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)						
レポート内容にて70点以上を合格とする。レポート評価基準は国家一級整備士試験問題に係わる知識として相応しいかを評価						
5. 準備学習						
総合演習 2 Aで学習した内容を復習しておくこと。						

授業計画

[illegible]

■：対面授業

		2024年度		授業計画		
一級自動車工学科						
時 期	4 年後期	単 元	実 習	教科名	故障診断1	
7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)						
番号	作業名		遵守事項		災害事例	チェック
1	ボードオン・リフトの使用に関わる注意事項		・車のセット及びホードオン・リフト操作手順を遵守すること。 ・車両重心位置をきちんとリフトの中心に入れ確認すること。 ・ボード上のソフトアタッチメントとボディーの間に手を入れないこと。			
2	エンジン始動時の注意事項		・エンジン始動時に「エンジン始動します」の声かけを行い、注意喚起後に周囲の安全を確認の上で、周囲の返事を待ってから始動すること。 ・関係の無い者の返事を禁止する。			
3	エンジン運転中のシフト操作		・車両に確実に乗り込み適正な乗車姿勢をとること。 ・駐車ブレーキが確実に掛かっていることを確認すること。 ・ブレーキペダルを踏み、ふみ応えがあることを確認すること。 ・車両前後の安全確認を確実に行うこと。 ・上記確認が取れないときはシフト操作を絶対に行わないように徹底する。			
8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)						
実習場			座学教室			
ティーダ C11 ラティオ N17 ラティオ N17 ノート E12 リーフ ZE1 ノート E12 C26 セレナ 車両前方方向(向かい合わせ) C26 セレナ ノート E12 リーフ ZE1 ノート E12 ラティオ N17 ラティオ N17 ティーダ C11						